

憧れのマッターホルンと4,000m級の山岳展望を望む

お申込みは
こちら

スイス・マッターホルン・パノラマ・スキー 8日間

世界中からスキーヤーが集まる、憧れのスキーリゾート・ツェルマットに滞在して4日間のスキー滑走を楽しめます。マッターホルンをはじめ4,000m級のアルプスに囲まれた迫力ある景色や、シーズンを通して安定した抜群の雪質、イタリア側へのロング滑走など、たくさんの魅力が詰まった人気も満足度もNo.1のリゾートです。はじめての海外スキーにも、リピーターにもおすすめです。

発着地 東京

海外スキーレベル



宿泊施設

ホテル (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金
3 / 8 (日)～3 / 15 (日)	¥726,000

残4

- 燃油サーチャージ (2025年10月20日現在: 目安約83,000円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー (添乗員): 東京から東京までまたはチューリッヒからチューリッヒまで同行してご案内します。
- 最少催行人数: 10人 ● 食事: 朝5回、夕1回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。ツェルマット/ダービー
- 一人部屋利用追加料金: **¥252,000**
- 利用予定航空会社: エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ

ツェルマット・スキー場情報

ツェルマット (ツェルマット & チェルビニア)

- 総滑走距離: 約183km (ツェルマットのみ) 約313km (チェルビニア含む)
- 標高 (TOP): 3820m (クラインマッターホルン)
- 輸送機関: 約34 (ツェルマットのみ) 約58 (チェルビニア含む)
リフト、ケーブルカー、登山列車など多種

- ※ 海外スキーレベルは「パラレルターンまでは出来ないが長時間長距離でも問題なく滑ることが出来る」程度
- ※ 昼食はスキー場内、各所に点在するレストランでお召し上がりいただけます。
- ※ 非常に寒い日には山の上だとツェルマットでマイナス20度近くまで気温が下がることがあります。湿度の関係で体感温度は日本のスキー場のほうが寒く感じるくらいですので、スキーをする際の服装は日本と同じ装備で問題ありません。天気が良い日は気温は低くても温かく感じ、屋外のテラスでランチを楽しめるほどです。
- ※ ゆっくりペースの方に出来るだけ合わせて皆さん一緒に滑ります。状況によっては待ち合わせ場所を決めて、各自で滑って集合というかたちでご案内することもあります。
- ※ 10名程度につき1名のガイドでご案内いたします。目安の時間としては9時に集合、スキー場まで移動し滑走開始が10時前後、滑走の終了が15時頃となります。1本の距離が日本のスキー場とは違い、非常に長いので、休憩をしながら1日滑ります。
- ※ 強風などの影響で輸送機関が止まらない限り、毎日スキーへ案内いたします。悪天候時に参加されるか、参加されないかはご自身でご判断ください。

2025 - 2026 WINTER

スキーバス料金 (スイスフラン)

	ツェルマット (チェルビニア含む)
3日券	259
4日券	336

- * ツアーの時期の料金です。
- * 料金は予告なく変更になる場合があります。

スキーレンタル料金 (目安/スイスフラン)

	スキーのみ	スキー&スキーブーツ
3日間	159	211
4日間	203	267

- * 参考料金となります。
- * 料金は予告なく変更になる場合があります。



▲マッターホルンの展望を楽しみながらのスキーは爽快感抜群

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東経由都市 着	夜、東京発→中東経由都市へ。 機中泊【機中泊】
2	中東経由都市 発 チューリッヒ 着/発 ツェルマット 着	中東経由都市で乗り継ぎ→チューリッヒへ。 チューリッヒ空港着後列車または専用車でツェルマットへ(約4時間)。 機中泊【ツェルマット泊】
3 4 5 6	ツェルマット 滞在 ツェルマット・スキー 4日間	ツェルマットに滞在し、4日間のスキーをお楽しみください。 天候などの条件が良ければ、マッターホルン・グレイシャー・パラダイス (3,883m) から国境を越えてイタリアのチェルビニアへご案内します。 朝4 昼0 夕1【ツェルマット 4泊】
7	ツェルマット 発 チューリッヒ 着/発	午前、列車または専用車でチューリッヒへ(約4時間)。午前、チューリッヒ発→中東経由都市で乗り継ぎ、東京へ。 機中泊【機中泊】
8	東京 着	夕刻、東京着。 機

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲天気が良ければイタリア・チェルビニアの滑走を楽しむことができる



▲マッターホルンを正面に見ながら滑走を楽しむ



▲絶景を眺めながらの楽しいランチ



▲チェルビニア (イタリア側) で美味しいランチを満喫